AGEO MEDICAL GROUP

平成 30 年 11 月発行　Vol.16　No.4（通巻第 63 号）

AMG リハビリテーション部広報誌

リハ通信

連携・信頼・進化の AMG リハ

リハビリテーション部 基本方針

1. お互いに高められる関係づくり
2. 新しい時代を創出する体制づくり
3. 地域包括マネージメントシステムの確立

2018/10 月号

部長挨拶（ポンコツ部長のたわ言）～人間関係で悩まないために～

AMG 協議会リハビリテーション部
部長　奥村　博文

私が病院・施設に伺うと、多くの方が人間関係に深く悩んでいることに気づきます。私も人付き合いがうまいほうではありませんので、何も偉そうなことは言えないのですが、日頃から、人間関係について感じていることを書きます。

1．価値観フィルター

当たり前ですが、我々は自らの価値観を通してしか、物事を見、感じ取ることは出来ません。我々の脳は、客観的なデータを、客観的なデータとして蓄積することは出来ないようです。

例えば、あの人に「・・・」なことを言われた、あの人は、私を傷つけた。ひどい人だ。と思っても、これを客観的なデータとして考えれば、相手の人が「・・・」言った。自分は「ひどいことを言われた」と受け止めた。としかなりません。相手がどんなつもりでそう言ったのかは、分かりませんので。

そもそも、どんな場面でも、相手を傷つけることを目的に、何かを言うことは、ほとんど無いと思います。
「コミュニケーションのすれ違いは、言われた側の受け取り方にも問題がある」とまでは言いませんが、少なくとも、自分はどんな価値観が元に、（相手の発言に）こう感じたのだろう？と自問自答することは、コミュニケーション上のすれ違いを減らすために役立つ行為だと思っています。

2．人は皆、精一杯生きている

私が、教員をしていた時に、学生から学んだことがあります。それは、『人は皆、精一杯生きている』ということです。
人は、一見、精一杯行なっていないように見えても、そこに費やすエネルギーが無かったり、どう取り組めばいいか分からなかったり、優先順位が分からなかったりといろいろ理由があることが多いように思います。（私が教員の時、学生は皆、そのようでした。）

どんな理由があって、そこにエネルギーを費やせないのか観察してみると、いろいろなことが見えてくることがあります。
（自分の説明が悪かった？　お手本があれば良いかな？　まず、悩みを聞こうなど）

私は、その人の精一杯をまず受け止め、共感した上でアドバイスすると、自分の言いたいことの意図がうまく伝わるように感じています。

3．共感するということ

私は、リハビリチーフの研修や新人研修で、『ＹＥＳが無ければ、能がない』とよく話します。

これは、ＹＥＳマンになれと言っているわけではありません。仕事の提案をされた時、自分に仕事の依頼をされた時など、相手はどのような意図で、なぜ自分に話したのかを考え、「ＹＥＳ」の気持を持って話を聞くと、相手の価値観も分かり、自分への期待も感じることが出来ます。

基本的に、提案してくれる方は、職場（仕事）をより良くしようと提案し、自分に仕事をお願いしてくださる方は、自分の仕事ぶりに期待しているところがあって仕事をくださいます。

その本質を知ることなく、ネガティブな「ＮＯ」ばかり話してばかりいると、「能」の無い人と思われますよ。という意味です。

そもそも、何事にも「ＹＥＳ」（共感）を表さない人は、その人の価値観をうかがい知ることも難しくなります。価値観を共有することは出来なければ、あてにされることもありませんし、相手にとって話したい（何事かを共有したい）仲間にはなれないのです。

4．何事にも「ＹＥＳ」（共感）を表さない人への対応

前項で書いたように、周りの人の言うことに、ことごとく「ＮＯ」を表し、何事にも「ＹＥＳ」（共感）を示さない人も居ます。

この手のタイプは、極めて厄介です。度が過ぎると「プチ反社会的勢力」と言えるかもしれません。生い立ちがやや特殊で、社会・会社・組織に強い恨みを抱いている人が多いように思います。

この手の人が大好きな行為は、社会・会社・組織の悪口、上司・部下への不満の話、周りの人の言ったことに対する「ＮＯ」です。

こういった人の特徴としては、周りの人の言ったことに「ＮＯ」を言うことが大好きなので、自分の価値観の表出なんて二の次です。なので、以前に自分が何て発言したかも覚えていませんし、自分の発言に責任も持ちません。まず、人の言ったことに「ＮＯ」と言うことが最重要なことなんです。不満ばかりを言うわりに、改善のために労力を使い、変化することも嫌います。愚痴のネタが減るからです。

このような人に、ながながと愚痴や悪口を聞かされそうになったら、「そうですね。なら、一緒に良い形に変えていきましょう。何から出来ますかね。提案してもらえますか？」と言ってみてください。ポジティブなエネルギーが苦手なこの手の人は、急に愚痴を話さなくなります。

会議でもそうです。こういった人は、良い提案にも「ＮＯ」を言うと思いますが、「それも一理ありますね。でも、とても良い提案だと思うんです。この提案が実現できて、・・・さんが心配される点を改善できる方法を考えていただけませんか？」と言うと有効です。

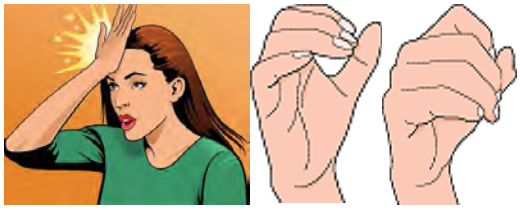
会議は、参加者が自分の発言に責任を持たないと、プラスを生み出す会議にはなり得ません。
「ＮＯ」だけ言って、逃げることを許してはいけません。勇気を持って対応をお願い致します。

◆部長ホットライン
TEL：048－775－6466　MAIL：hirofumi.okumura@achs.jp　なんでもご相談ください

前園所長あいさつ

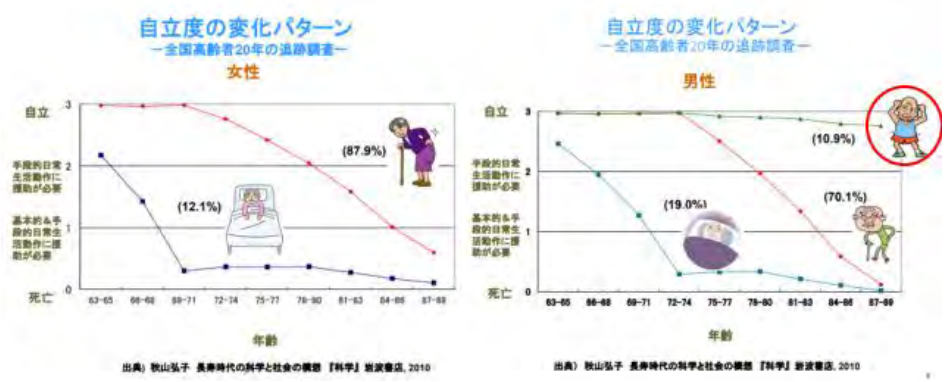
ＡＭＧ地域健康推進研究所
所長：前園　徹

運動会も終わって、季節も秋めいて来ましたね。今年の夏は、天候不順で体調管理が大変でしたね。また、天災も多く、大変な思いをした方もいたのではないでしょうか。
肩が凝ったり、首が痛かったりしたら、額から頭頂まで軽くポンポンと叩いでみてください。（筋膜のバックラインが緩む）　結構、効果がありますよ。
図のように、平手でもかるく握った手でもいいです。眉間をこすっても。



腰のだるさ、痛みなら、仙腸関節内転（しこふみ）やゴルフボールなどで足の裏を伸ばす（バックラインを緩める）などもいいですよ。

もちろん、以前にお知らせした入浴法も大切です。
体のケアも大切です。健康管理をしっかりしながら日々健康に過ごしてください。



上図は、自立度変化パターン男女比較です。
男性の１割に亡くなるまで維持されている方がいます。
この「1割に残る」を目指すために、40代になる前に早い動きの運動（白筋を鍛える）をするといいようです。将来高齢になったときに自立しているためにも、白筋（タイプⅡ線維）の貯筋をしてくださいね。

◆AMG 地域健康推進研究所
TEL：048－778－2805　　MAIL：toru.maesono@achs.jp
FAX：048－778－2806

短期集中選考会のお知らせ

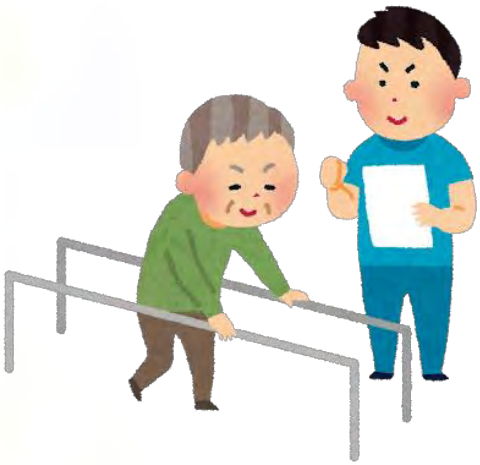
各施設でも、見学や採用試験を希望する学生さんが増えてくる時期になりました。
求人対策の一環として開催しております、短期集中選考会が今年も開催決定致しました。
日程は下記の通りです。

期日：平成30年11月13日（火）9：30 ～ 13：00

会場：AMG協議会ビル5F大会議室

申込：事前エントリー制

＊お申込み、詳細は、AMGリハビリ部のホームページをご覧ください。



◎通常の採用試験とは異なり、選考会から1週間ほどで内定を獲得することができるため、養成校の先生方をはじめ、学生さんからご好評をいただいております。

◎上記開催日の午後から、受験者が病院施設の見学・面接を希望する場合がありますので、受入れ・ご対応の程よろしくお願いいたします。

平成 30 年度　上尾中央医療専門学校　新聞

－理学療法士作業療法士　学校養成施設指定規則の改正ついて－

文部科学省 厚生労働省令第四号　2018.10.5

文部科学省 厚生労働省令第四号により、理学療法士および作業療法士を養成する学校の規則である「指定規則」（平成 32 年 4 月の入学生から適応）が一部改正となります。また、厚生労働省医政局より指導ガイドラインが開示されました。追加される教育目標や臨床実習の在り方についてご紹介します。

追加された教育目標

- 患者・利用者等との良好な人間関係の構築を目的に、人間関係論、コミュニケーション論等を学ぶ。
- 高度化する医療ニーズに対応するため栄養学、臨床薬学、画像診断学、救急救命医学等の基礎を学ぶ。
- 国民の保健医療福祉の推進の為に、リハビリテーションの理論(自立支援、就労支援等を含む)、社会保障論、地域包括ケアシステムを理解し、理学療法士・作業療法士が果たすべき役割、多職種連携について学ぶ。
- 医療保健制度、介護保険制度を理解し、職場管理、理学・作業療法教育に必要な能力を培うとともに、職業倫理を高める態度を養う。
  (新規：**理学療法・作業療法管理学**)
- チームの一員として連携の方法を習得し、責任と自覚を培う。（臨床実習）

指定規則の「臨床実習」改正ポイント

1．単位数の見直し、新たに最低履修時間数の設定

・臨床実習の 1 単位の時間数の見直し

臨床実習時間外での学習を考慮し、臨床実習 1 単位の時間数を、「1 単位 40 時間以上の実習をもって構成、実習時間外に行う学修等がある場合には、その時間も含め 45 時間以内」とする。

2．臨床実習の在り方

・臨床実習指導者の要件

実習指導者は、理学療法作業療法に関し相当の経験を有する理学作業療法士とし、免許を受けた後 **5 年以上**業務に従事した者であり、かつ、厚生労働省が指定した**臨床実習指導者講習会等を修了した者**とする

・臨床実習の構成、方法等

臨床実習の構成は、原則として見学実習、評価実習、総合臨床実習をもって構成することとし、評価実習、総合臨床実習については、実習生が**診療チームの一員として加わり**、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う**診療参加型臨床実習**が望ましいとする努力規定等を追加する。

上尾中央医療専門学校は、
未来が求める「人」を育成します
AMG だからできる・・・
質の高い臨床教育を目指しています

チャレンジ研修
随時募集
経験年数問わずお待ちしています♪**一緒に講義体験しませんか？**

上尾医専ブログ
授業の様子や
イベント情報を発信

平成30年度　AMGリハビリテーション部 管理職研修会報告

AMG協議会　リハビリテーション部
部長　奥村　博文

今年度も、8月24日（金）～25日（土）、茨城県守谷市のデュープレックスセミナーホテルにて、AMGリハビリテーション部管理職研修会を開催させていただきました。

年々参加者は増加の一途をたどり、今年度はチーフ・サブチーフを中心に108名の参加者にて実施いたしました。

プログラム

8月24日（金）

① 講演Ⅰ　「出来ていることと、出来ていないことの再認識と取り組めることの設定」
AMG協議会リハビリテーション部　奥村　博文

奥村部長

② 講演Ⅱ　「今、伝えたいこと」
AMG地域健康推進研究所　所長　前園　徹

前園所長

③ 特別講演Ⅰ　「リハビリテーション政策の推進」
日本理学療法士協会　理事　田中まさし　先生

田中先生

④ 特別講演Ⅱ　「八潮トライアングルの試み」
八潮中央総合病院・埼玉回生病院・ケアセンター八潮から、地域を取り囲む支援体制について報告

八潮トライアングル

8月25日（土）

① 紹介　「モフ測の紹介」　三菱総研さまより

三菱総研様

② 講演Ⅰ　「予防事業への取り組み」
上尾中央総合病院　リハビリテーション技術科　係長　岡林奈津未

岡林係長

③ 講演Ⅱ　「認知症予防、認知症の方々が地域で生活できる取り組み」
三郷ケアセンター　リハビリテーション科　係長　坂口誠太郎

坂口係長

④ 講演Ⅲ　「地域における嚥下機能改善への取り組み」
横浜なみきリハビリテーション病院　リハビリテーション科　科長　廣瀬裕介

廣瀬科長

⑤ グループワーク　および　発表

計1.5日とびっしりと内容の詰まった研修でしたが、とても中身の濃い研修となりました。

◆グループワーク

◆発表

特に特別講演では、まず、田中先生に

時代の変化や我々に期待されていること、

我々が目指すべきこと

についてお話いただきました。

お話がとても楽しく、上手でいらして、参加者はずっと前のめりになって聞いておりました。

今年の管理職研修会は、外部講師は田中先生お一人で、あとは AMG のスタッフで講師を務めました。
「良い活動をしている病院・施設の情報を共有しよう」とこういった形にしたのですが、（手前味噌ですが）
本当に実のある情報共有が出来たと感じております。

こういった研修については、研修プログラム内容だけでなく、各チーフからじっくり情報を聞くことが出来るほか、各チーフ同士の情報交換など、多くの実りがございます。こういった研修の実施にご高配を頂きまして、各施設の院長・施設長・事務長の皆さま方に心より感謝いたしております。本当にありがとうございました。
研修のご準備・運営にあたられた皆様方も本当にありがとうございました。

【研修会報告】

2018年度AMGスポーツリハビリテーション委員会研修会
「テーピングの基礎、上肢に対するスポーツテーピング」
講師：遠藤浩士先生(伊奈病院)

参加者28名(アンケート回収数28枚)

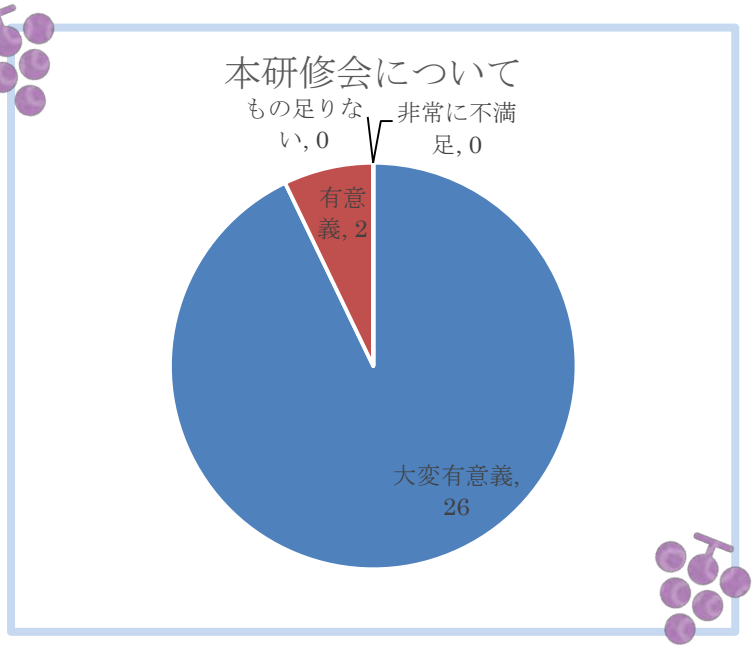
9月8日、上尾中央総合病院にて2018年度AMGスポーツリハビリテーション委員会研修会を開催しました。

3月に開催したAMGスポーツリハビリテーションフォーラムで実施したアンケートで「実技研修を実施してほしい」という声が多数あったため、今年度はスポーツ理学療法の認定理学療法士である伊奈病院の遠藤浩士科長に講師をしていただきテーピングの実技研修会をおこないました。

2年前に下肢のテーピング研修会を実施したこともあり、今回は上肢のテーピングの研修会を実施しました。

普段は理学療法士の方々に参加していただくことが多い当委員会の研修会ですが、上肢をテーマに扱ったことで作業療法士の方々にも多数参加していただきました。

講師によるデモンストレーション⇒参加者間でテーピング実技という流れで実施し、3時間の研修会があっという間に感じるほど内容の濃い研修会となりました。不安定肩に対するテーピングや、突き指や巻き爪に対するテーピングなど日々の病院業務からスポーツ現場で役に立つ技術を学ぶことができました。(私自身、翌日のスポーツ現場で突き指のテーピングを使用しました)



今後もAMG職員にとって有益な研修会を企画し、AMGグループにおいてスポーツリハの分野を盛り上げていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。また、今年3月に実施したAMGスポーツリハビリテーションフォーラムを、次回は2019年2月2日に開催したいと考えておりますので皆様奮って参加していただければと思います。

報告者
上尾中央総合病院
リハビリテーション技術科
主任　西岡幸哉

AMGリハビリテーション部 キャリア支援委員会 企画

ロールモデルアンケート

一心館 菊地裕美さん（PT）のご紹介

はじめに

1. 基本的属性（性別、年齢、職業、家族構成、居住地、資格・免許、学歴）

性別：女性

年齢：34歳

職業：理学療法士

学歴・資格：

埼玉医療福祉専門学校で理学療法士免許取得

福祉住環境コーディネーター2級取得

埼玉県立大学院でリハビリテーション学専修修士取得

認定理学療法士「地域理学療法」

埼玉県理学療法士会 地域包括推進部 部員

埼玉県理学療法士会 災害対策委員会 委員長

2. なぜこの職業に就こうと思ったのですか？

小学生4年生から続けてきたバスケットボールで中学生の時に半月板損傷によりリハビリに通うことあり、何度か理学療法士の方と関わることがありました。高校生の時に父親からリハビリテーションについての本を紹介され勧められて興味をもちました。

3. 今、取り組んでいること、学んでいることは？

・災害リハビリテーションについて学んでいます。

・埼玉県内・県外で災害が発生した際の対応について、少しでも迅速・安全に取るべき対策を整理していく為、“マニュアルの作成”・“アクションカード”の参考資料の作成を行っています。

埼玉県理学療法士会・埼玉県作業士会・埼玉県言語聴覚士会（三士会共催）による災害支援派遣要員の人材育成に取り組んでいます。

4. 今、取り組んでいること、学んでいることにはどんな想いで

いつ発生するか予想が難しい災害発生を押さえる事は難しいですが、被害を少しでも未然に防ぐための備えである“防災”と、少しでも被害を軽減する努力“減災”という基盤となる考え方が重要です。そのために事前の準備や対策で取り組めることがあるのではないかと日々考えています。

災害被害について、調べると被災者の約６割以上が高齢者・障碍者と報告されています。私は普段の業務で訪問リハビリを専属で取り組んでいるため、特に在宅で生活している要介護高齢者をはじめ、障碍者の方々の被害を減らしていきたいと考え、普段の業務から取り組めることがないかを模索していました。

経緯とターニングポイント

5. 子供のころはどんな子供でしたか？

自分が疑問に思ったことや興味を持った事には何時間も没頭して取り組み、興味のないことは適当になりやすかったので、“夏休みの宿題の取り組み方”や“勉強の仕方”など、細かい計画表をよく兄が作成してくれました。

6. 父親から学んだことはなんですか？

“今週の目標”（ちょっとした事）などをよく宣言している親だったので、私も自分の中で“ちょっとした目標を”たてるようになりました。

7. 今取り組んでいること、学んでいることのきっかけは？（ターニングポイント）

訪問リハビリにお伺いする利用者さんで、入浴動作やトイレ動作を出来る様にする事を目標に生活リハビリ取り組んでいました。

その近所で小さなボヤがありました。その時に要介護４の老夫婦から「もし火事がおきて、逃げようと思っても**“どうやって逃げたいいのか分からない”**」と相談を受けた事がきっかけです。日中によく過ごされているところから最短距離での避難を想定した際、「縁側からの避難の方法」や「配偶者の介助が得られた場合の方法」・「自力で少しでも安全に避難する方法」を検討し、いざり移動などいろいろな移動手段を用いたトレーニングを行いました。

8. ターニングポイントを迎えるまではどんな仕事を経験してきましたか？

１年目から訪問リハビリにも配属させてもらい、生活リハビリに力を入れていました。

引きこもり期間２年(要介護４)で動けなくなり、外に出ることに大きな不安を持っていた利用者の方を“前向きな気持ち”になってもらい、外出が楽しいと思って頂けるように日々奮闘！！“綺麗になりたい”と気持ちを打ち明けられたので、美容院への外出計画を立て、自宅から美容院まで(交通状況・横断歩道・坂道・段差など)の環境評価や美容院内環境評価・動作方法の検討（カットする際のイス・シャンプー台・トイレ）し、美容院スタッフさんとの連携(シャンプー台の乗り方・背もたれの倒し方など)をとり、おしゃれを楽しめて外出が出来るようになりました。

起居動作や車いすの移乗動作の獲得(要介護５)という目標から介入し、目標を達成しては新たな目標と進んでいく中で、“旅行にいきたい”と希望が出てきました。希望を叶えるため、まずは宿泊する宿の検討から始め、宿泊先のスタッフとの情報収集（トイレやお風呂・部屋の環境など）し、その際に必要な動作の練習に取り組みました。海の幸を食べに旅行にいくことができました。

車の免許再取得を目標とした利用者さん(要介護１)に対し、適性検査の項目を調べ、その対策練習を考え、お手製の道具を使ってのシミュレーションを繰り返し取り組みました。適正検査の検査員方や自動車教習所の教官の方との連携をして、安全面も考慮した上で無事に再取得できました。

日々の仕事の中で、たくさんの人（いろいろな職種の方）との関わりや協力のおかげで、それぞれの目標が達成でき、自分が行動を起こすことで、それぞれに必要なスキルを持った方々と協働できるように繋ぐ役割をすれば、ワクワクした仕事ができると経験しました！！

9. 当時の感想や思い出、悩みや不安は？（プライベートも含めて）

災害リハビリテーションという考え方が当時はほとんどありませんでした。

減災・防災の観点からどんな事に取り組んだらいいのかを調べるうちに、情報がほとんど無かったので、現状を把握する取り組みをしたいと思い、研究しようと考えました。

でも研究の仕方が分からず、悩んでいたときに当時の上司が大学院に入学して研究をされていたので、刺激受

け災害被害を減らすための一助になるような研究をしようと大学院に入学しました。

10.　今取り組んでいること、学んでいることをやりはじめたときはどうでしたか？

一からの事で常に悩みながら取り組んでいます。

私たちリハビリ職が“災害時の被害を減らす”ために取り組めることがあるという事！！

普段の仕事の中でも自分の担当患者さんや利用者さんが無事に逃げられるように事前の準備をそれぞれの専門的な知識からアドバイスをして、“避難することを想定する”手助けができることを伝えていきたいと思っています。

11.　その頃の挫折・失敗体験は？また、そこからどう立ち直りましたか？

多くのリハビリ職の方に災害リハビリテーションについて、もっと身近に取り組むべきことだと知ってもらおうと学会で発表する機会を作りました。しかし、残念ながらポスター発表では自分の発表セクションにはあまり人が集まらなかったり、または自分の発表の直前で人が減ったりと、関心のある人と関心のない人と極端な状況でした。他のセクションよりは少ないですが、関心のある人は熱心で質問も多い印象がありました。まずは災害リハビリに関心を持ってくれる人増やすことに目的に、興味がなくても聞かないといけない口述発表に切り替えていきました（笑）。

～学会発表時のポスター～

～菊地係長発表の様子～

12. そこから何を学びましたか？また、現在にどう活きていますか？

もっと普段の業務とセットで取り組めるように具体的なモノを形にしていかなくてはと現在進行性で奮闘中です！！

13. 仕事以外にも何かやっていることは？休み日とか…

岩盤浴にいき、その時間はボーとしています。

6月からハリネズミを飼っています。とっても可愛くて、肩の上で寝ていたり歯ブラシで針をゴシゴシ（ハリネズミ流入浴）したりと日々、癒されています☆

多忙な菊地係長を一生懸命癒す

ハリネズミの「ちこちゃん」

おわりに

14. 今後（近い将来3～5年後程度）の目標は？

訪問リハビリテーションをはじめ、在宅要介護高齢者や障碍者の方の避難支援個別計画作成にはリハビリ職の介入も必要だということを行政や地域の方々・リハビリ職に認識してもらえるように、事例集を作成していきたいと思っています。

災害だけに関わらず、地域のサロン活動や民生員さんとの関わりを増やし、地域の安全や活性化の観点からも自分の職種としての役割を生かした関わりに力を入れていきたいです。

15. AMGで働く仲間に向けてメッセージをお願いします！

AMGリハビリテーションでは様々な取り組みをされている人が多いので、とっても刺激し合え、自分がワクワクすること感じられることにも取り組みやすい環境が揃っていると思います。病院・施設で、これからも地域のために協力し合って、一緒に笑顔で働けると嬉しいです。

これからもよろしくお願い致します。

【発信元】
上尾中央医科グループ協議会 リハビリテーション部
部長：奥村 博文
担当：坂本 佳奈（kana.sakamoto@achs.jp）
長澤 花菜（kana.nagasawa@achs.jp）
ご意見やご感想、お待ちしております